

### 1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	交流・環境	29年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 事業推進課長
施策名	うらおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト			
事務事業名	中川運河緑地(堀止地区)整備事業	継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7921 <small>計画担当、環境担当、工事課、港湾工事事務所</small>
目的	対象(誰・何を)	中川運河(堀止地区)			事業期間	平成20~令和3年度
	意図(どういった状態にしたいか)	人びとが港の雰囲気を楽しむことのできる水辺空間を整備し、地域環境の向上を図ります。				
概要	整備場所:名古屋市中川区運河町、中村区運河町 内容・規模:「親しまれるみなと」を実現するため、市街地の貴重な水辺空間に緑地を整備します。用地を造成し、水辺周辺一帯を緑地(1.1ha)として整備(用地・護岸、緑地)します。 全体工事費:12億円(平成23年度より11億円から変更) 事業手法:防災・安全交付金事業			根拠法令等	名古屋港港湾計画 中川運河再開発基本計画 中川運河再生計画	
事業着手時点の評価	中川運河(堀止地区)において、訪れた人々が海や港の雰囲気を味わうことのできる水辺環境を活用した緑地整備することにより、地域環境の向上を図ります。費用対効果(B/C)は1.4です。			実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
30年度の実施予定	水辺一体の緑地整備として、東側約0.1haについて通路舗装を行います。			関連シート	中川運河再生計画の推進	

### 2 DO(実施)

30年度に実施した内容・結果	水辺一体の緑地整備として、東側約0.1haについて通路舗装を行いました。					
コスト	単位	28年度	29年度	30年度	合計(平成20年度~)	備考(費用の増減理由等)
工事費	千円	120,744	0	20,000	906,159	平成29年度8,881千円を平成30年度に繰り越して実施しました。
人件費	千円	7,615	4,319	4,333	87,911	
合計	千円	128,359	4,319	24,333	994,070	

### 3 CHECK(検証)

指標名	28年度	29年度	30年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
事業進捗率(%) (進行管理型)	目標	76.9	78.0	80.5	80.5(累計)	事業進捗率は、全体工事費を100とした工事費の割合です。 *平成27年度行政評価において、事業完了年度を延伸し、あわせて目標値を見直しました。	周辺地区再開発	
	実績	73.8	73.8	75.5				
	事業進捗状況(30年度)		(順調) やや遅れ・遅れ					
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	ささしまライブ24地区の土地区画整理事業等と一体的な整備を進めており、金額的には目標値を下回るものの堀止西側の緑地については、平成29年4月1日に供用を開始し、予定通り順調に進捗しております。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	事業着手時に比べ必要性が低下していないか?	○	堀止に隣接するささしまライブ24地区の土地区画整理事業等と連携して地元のニーズを取り込みながら整備を進めています。					
	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○	平成29年4月1日から緑地の一部を供用開始しており、人びとが港の雰囲気を味わうことのできる水辺空間を整備し地域環境の向上を図ることは、上位施策である「うらおいと魅力のある港湾空間の形成」に貢献すると考えております。					
	期待どおりの成果が得られているか?	—	本事業は施工中であるため、成果の評価は対象としておりません。					
効率性	最小のコストとなっているか?	○	堀止に隣接するささしまライブ24地区の土地区画整理事業等と連携して効率的に整備を進め、コスト削減に努めています。					

### 4 ACTION(取組)

5年間の状況	課題	令和元年度以降の取組	継続
順調	中川運河緑地(堀止地区)については、名古屋市関連事業と調整を図りながら一体的な緑地整備を進める必要があります。	中川運河緑地(堀止地区)については、名古屋市関連事業と連携して、引き続き、親水緑地の整備を進めていきます。	